長農（初）

近江牛の長期肥育に挑戦

滋賀県立長浜農業高等学校

三大和牛の一つ「近江牛」

繁殖から肥育・出荷の一貫経営

現在の飼養頭数	・繁殖	10頭
	・肥育	9頭
	・育成	7頭
	計	26頭

本校の飼育の特徴

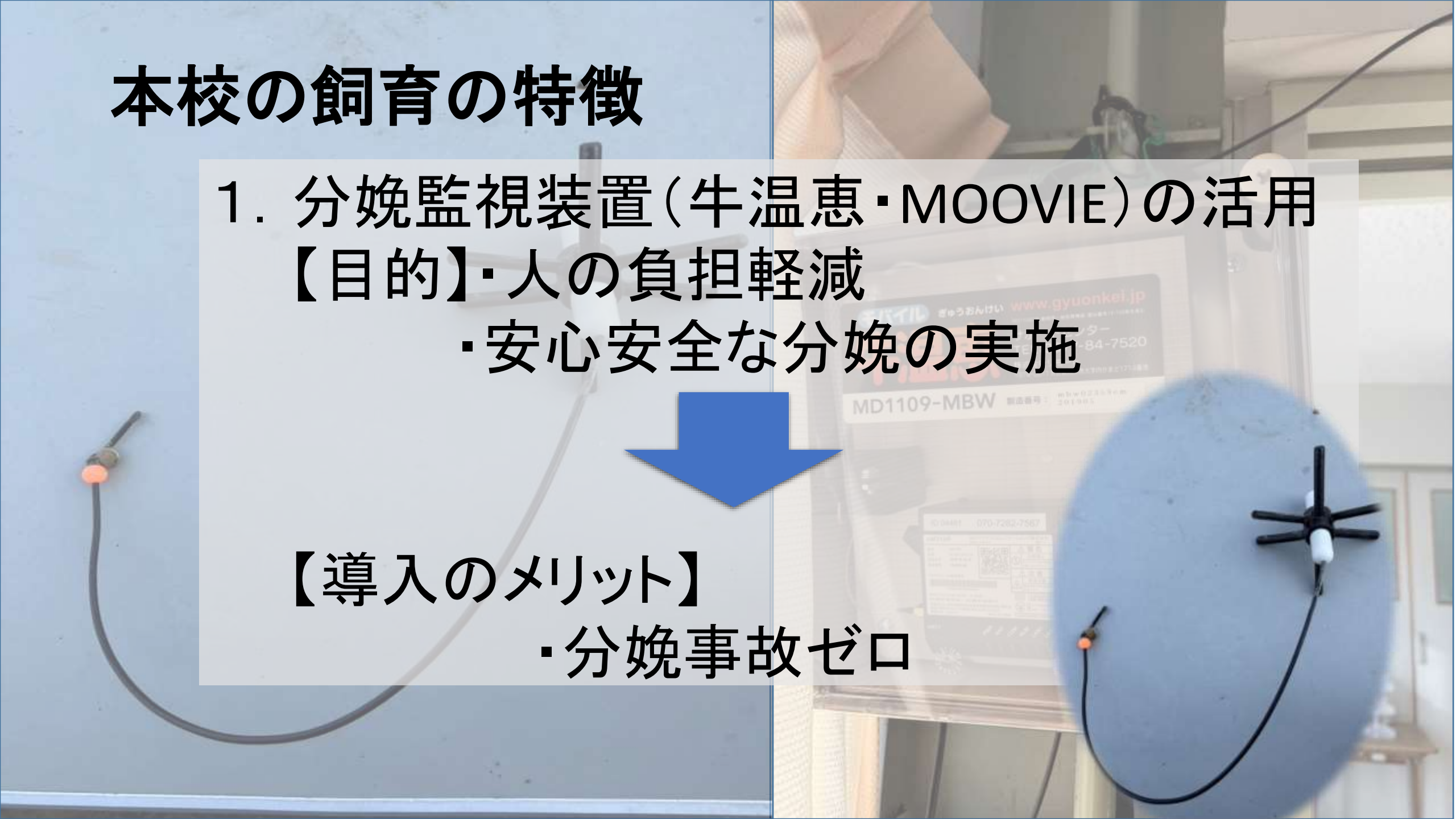
1．分娩監視装置（牛温恵・MOOVIE）の活用

【目的】・人の負担軽減

・安心安全な分娩の実施

【導入のメリット】

・分娩事故ゼロ



本校飼育の特徴

２．地域資源の活用

・本校の水田や地域の農家さんの水田からの稲わらの収集

・堆肥との交換

↓

耕畜連携・経費削減

稲わらの他に

・クレイングラス
・イタリアンライグラス
・スーダン

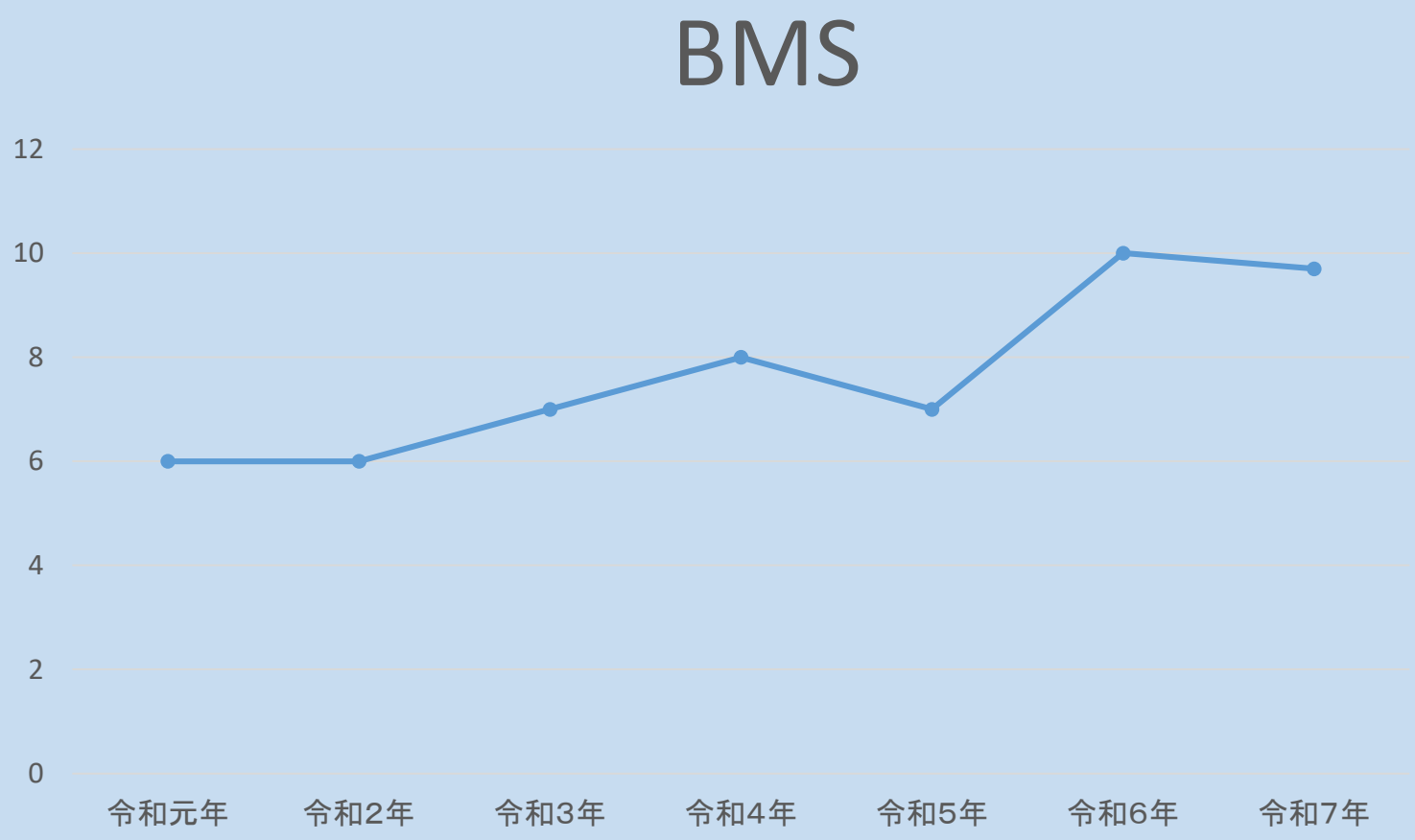
ルーメン内のpHを安定させる

3種類を
使用

食欲増進につなげる

～実習の様子～

本校の枝肉成績の変化



- エサの改良
- ビタミンA
  コントロール

本年度の取り組み

県内の牧場視察

・学校での飼育管理との違い
・農家さんのこだわり

本年度の取り組み

農家さんとの交流・試食会（食べ比べ）

本年度の取り組み

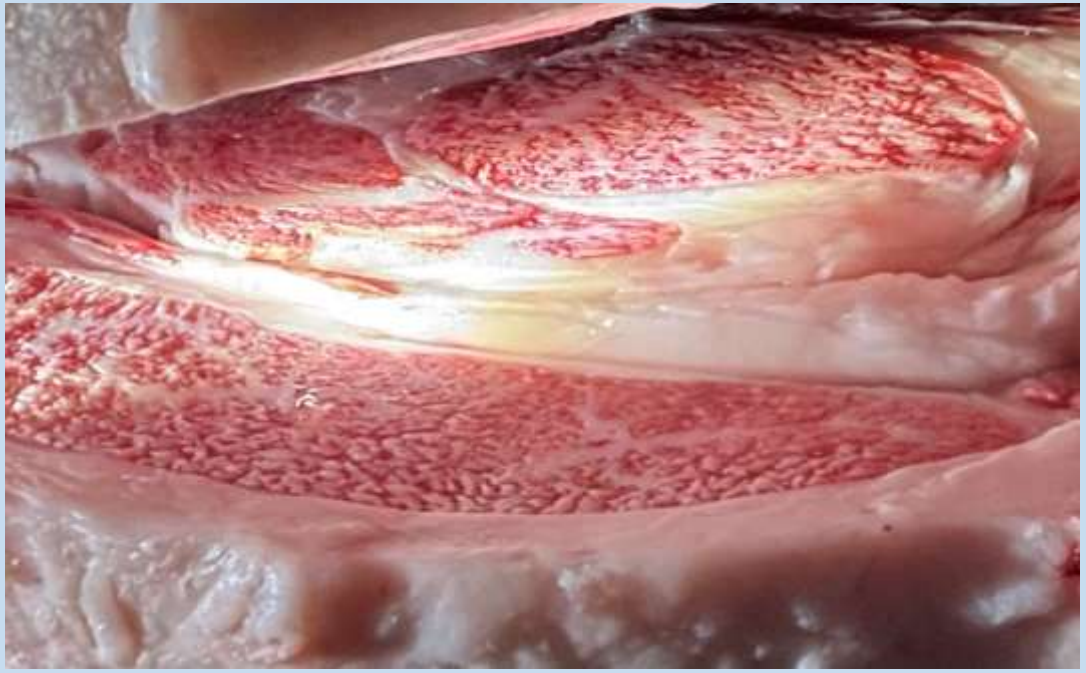
和牛販売会の実施

・地元小売店
・生協
・学校での販売会など

出品牛についての取り組み

・本校で最長の36ヶ月齢で出荷
→サシが綺麗と評価された

・最適な肥育月齢を考えてきた



・近江牛は肥育期間が
長い枝肉が高く評価されることがある。

・和牛甲子園に出品する牛を
選ぶ際に出荷月齢を何カ月にするか
検討した

長期肥育の特徴

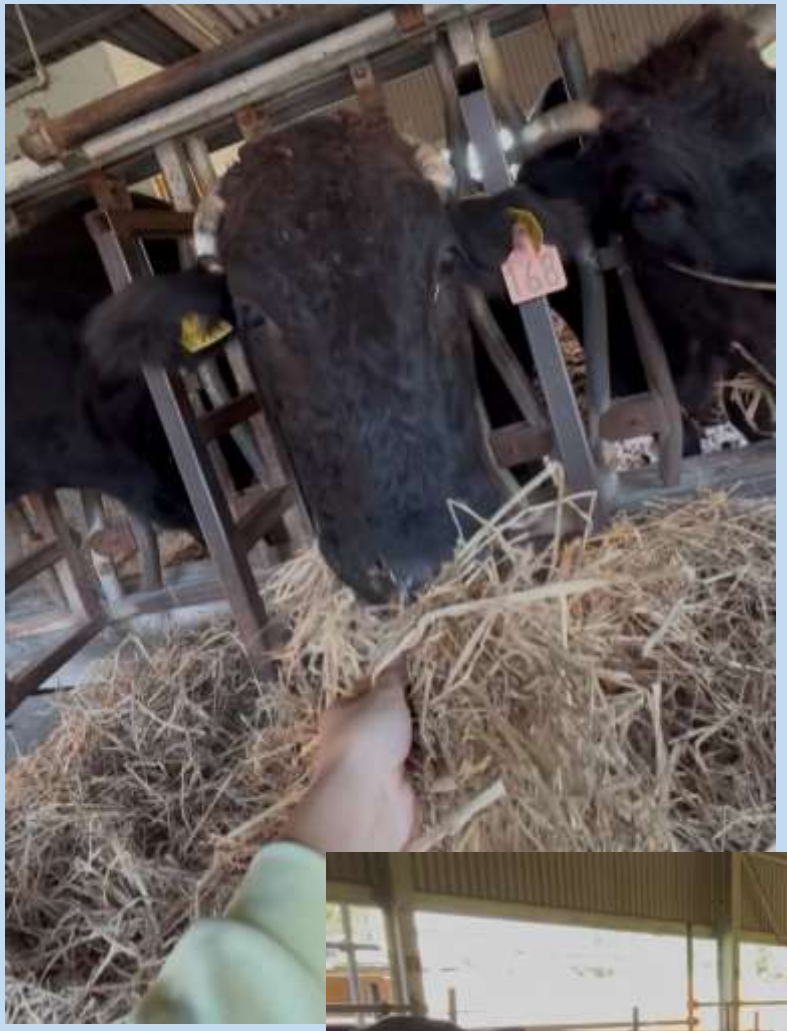
・サシが入る
・ドリップが出てこない締まりのある肉になる
・柔らかい肉質

長期肥育の課題

・病気になるリスクの高まり、脂肪過多
・エサ代がかかる
・牛床が空かない

給餌方法の工夫
（配合飼料を減らし、粗飼料を増加）
観察の強化
ブラッシング
課題をクリアできるのではないか！

実際に調べるため40カ月の
長期肥育にチャレンジ



OWAKE SEIKI
KONAN AICHI

来年度へ向けての取り組み

- エサ代の変化
- 肉質
- 食味検討

- 枝肉重量
- 枝肉単価

- 適正な出荷月齢を再度検討

ご静聴ありがとうございました
(o*。_。)o